

2002年度 第2回理事会 開催される

2003年度 事業計画(案) 改革小委員会報告等を協議

理事会は中尾理事長のあいさつではじまり、第1号議案・2002年度一般会計収支補正予算書(案)、第2号議案・2002年度緊急地域雇用創出特別基金事業特別会計収支補正予算案、第4号・2003年度事業計画(案)、第5号議案・2003年度一般会計収支予算書(案)、第6号議案・2003年度大阪府地域就労支援事業特別会計収支予算案(案)、第7号議案・2003年度緊急地域就労雇用創出特別基金事業特別会計収支予算案(案)が提案され、全員の賛成で了承しました。2003年度事業計

画(案)では、1.就職マツチング事業、2.人材開発・養成事業、3.雇用・就労情報提供事業、4.職域開発事業、5.その他の事業の5中科目の中に28小科目事業(案)を提案しました。2003年度は、特に人材開発システム(人材開発・養成事業)を軸にすえた事業実施計画を進める



理事会は中尾理事長のあいさつではじまり、第1号議案・2002年度一般会計収支補正予算書(案)、第2号議案・2002年度緊急地域雇用創出特別基金事業特別会計収支補正予算案、第4号・2003年度事業計画(案)、第5号議案・2003年度一般会計収支予算書(案)、第6号議案・2003年度大阪府地域就労支援事業特別会計収支予算案(案)、第7号議案・2003年度緊急地域就労雇用創出特別基金事業特別会計収支予算案(案)が提案され、全員の賛成で了承しました。2003年度事業計

画(案)では、1.就職マツチング事業、2.人材開発・養成事業、3.雇用・就労情報提供事業、4.職域開発事業、5.その他の事業の5中科目の中に28小科目事業(案)を提案しました。2003年度は、特に人材開発システム(人材開発・養成事業)を軸にすえた事業実施計画を進める

報告は、①人材開発システム及び人材開発システムの概要、②職員体制及び人件費の改革に向

けた概要、③会員企業の拡大に向けた概要の各検討内容が報告され、全員の賛成で了承されました。

2003年3月25日(火)、Aワーク創造館において、C-STEPの2002年度第2回理事会が開催され、2003年度事業計画(案)、改革小委員会報告について協議がおこなわれました。2003年度事業計画案は、5月に開催されます2003年度通常総会に提案され、2003年度事業が決定されることになっています。

人間を主役にした人材雇用開発

C-STEP ニュース

No.07

C S T E P

CAREER SUPPORT & TALENT ENHANCEMENT PLAZA

発行人/中尾 善一
発行所/社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター
〒556-0027 大阪市浪速区木津川12丁目3番8号
[A'ワーク創造館]内
tel.06-6567-6868 fax.06-6567-6886

URL(ホームページ) <http://www.c-step.or.jp>

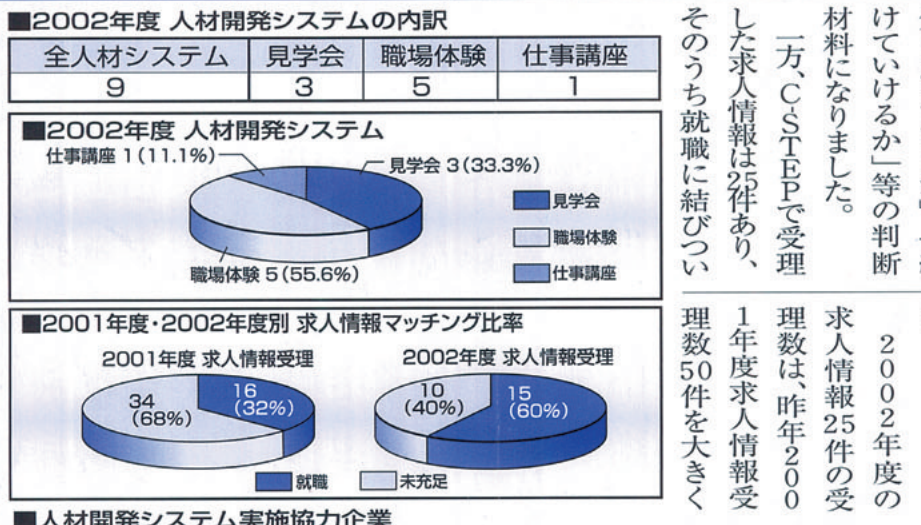
マッチング率向上に向け 人材開発・養成事業2003年度も推進

2002年度新たに創設した人材開発・養成事業は、会員企業の協力により9回行われました。C-STEPへ提出いただいた求人情報カードをもとに、

職場体験、職場見学、仕事講座を企画し、C-STEP登録の足がかりとして各市町村・地域就労支援センターへ発信しました。内訳は、次の通りになって

おり、職場体験が5件、見学会が3件、講座が1件となっています。とりわけ職場体験では、主に就職希望者が実際に仕事を体験することにより、「自分にあっているか」、「続けていけるか」等の判断材料になりました。

2002年度の求人情報25件の受理数は、昨年2001年度求人情報受理数50件を大きく



■人材開発システム実施協力企業

会員名	人材開発メニュー(講座名)	内容	実施日(期間)	参加者
オーウェル(株)	庶務の職場見学会	見学会	2002年 6月 6日	5名
イトキン(株)	アパレル業界の説明、見学	職場体験	2002年 8月20日	なし
(株)損害保険ジャパン	庶務の職場体験講座	職場体験	2002年 8月20日、21日	4名
(株)日本システムディベロップメント	庶務の職場体験講座	職場体験	2002年 9月 3日、4日	なし
(株)テトラ	事務職の職場体験	職場体験	2002年10月23日	6名
積水ハウス(株)	カスタマーズ仕事講座	仕事講座	2003年 2月10日	4名
松尾電機(株)	警備の仕事見学会	見学会	2003年 2月26日	なし
(株)豊田自動織機	車輛製造の職場見学会	見学会	2003年 3月11日	2名
積水ハウス(株)	カスタマー職場体験	職場体験	2003年 4月 3日~14日	1名

通常総会で91社・3団体を表彰
評価・顕彰システム導入検討委員会で決定

昨年、7月に設置した評価・顕彰システム導入検討委員会は、これまで3回開催し、第1段階(これまでの21年間の評価)

の表彰を5月に開催される通常総会で行うことを決定しました。表彰企業は91社・3団体で、該当企業には通常総会の開催に合わせて連絡させていただきます。また、第2段階(これからの評価)については、現在検討されています。

「継承そして新たな挑戦」が完成

C-STEP 記念情報誌

「継承そして新たな挑戦」が完成

第6号でお知らせしました、C-STEP 記念情報誌「継承そして新たな挑戦」が完成し、4月上旬に会員のみならず及び関係機関・団体に配布させていただきます。

この記念情報誌は、これまでの歴史、役割、使命を継承し、21世紀は「人権の世紀」と言われるに相応しく「人権の確立」にむけ新たな挑戦をはじめることから「継承そして新たな挑戦」としました。編集は、「期待」「継承」「新たな挑戦」の3部構成と「参考資料」になっています。(1)「期待」編では、各界からの祝辞、メッセージを掲載しています。(2)「継承」編では、21年のあゆみを年譜・写真・記事等で紹介し、さらに「頑張ってきた企業・頑張る企業」と題して、富田改革担当理事の司会のもと、4企



16件(32%)に対して、2002年度は15件(60%)ということ、率としては向上しています。今後更に職業意識の向上とマッチング率向上のための人材開発・養成事業を進めていきます。

地域就労支援事業 実施市町村の大幅拡大へ

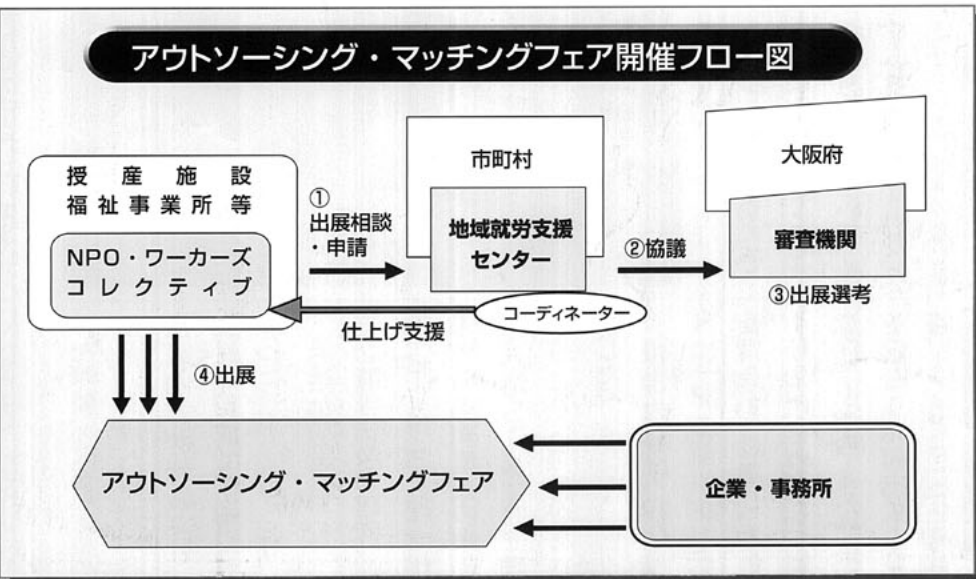
今回は、このたびに成立した平成15年度大阪府予算のうち地域就労支援事業関連予算の概要についてご紹介いたします。

大阪府では、障害者、母子家庭の母親、中高年齢者の中で、働く意欲がありながら様々な就労阻害要因を抱え、雇用・就労を実現できない就職困難者等を支援するため、市町村が主体となって地域の関係機関との連携のもと、雇用・就労につながる各種支援を展開できるよう引き続き支援します。

この中で、平成14年度に創設した地域就労支援事業補助金について（新15 16百万円）。

では、事業実施市町村数の大幅な拡大を図ってまいります（14 105百万円→15 135百万円）。また、この事業の中心となる地域就労支援コーディネーターの人材確保とその養成は、喫緊の課題であることから、引き続き「コーディネーター養成事業」を実施するとともに、その指導・育成を図る「スーパードライバー」を設置します（新15 4百万円）。

新たに、就職困難者等のNPO・福祉事業所等での雇用拡大を図るため、NPO等の受注可能な業務を広く企業等に紹介する「アウトソーシングマッチングフェア」を開催します（新15 17百万円）。また、C-STEPの人材開発システム登録者の中で、特に民間での教育訓練が必要と認められた者に対し「チャレンジ自己開発奨励金」を給付します（新15 4百万円）。



概ね理解していただいた 「地域就労支援事業」啓発ビデオアンケートより

昨年12月に完成し、本年1月に配布させていただきました「地域就労支援事業」啓発ビデオについてのアンケート回収状況は、これまでに366件（2003年3月14日現在）の回答がありました。

内容は、「1」地域就労支援事業については、①よくわかった（251件）、②なんとなくわかった（106件）、③あまりわからなかった（7件）、④わからなかった（0件）、⑤その他（2件）

今後希望されるビデオについては、①就職につながった事例等（35件）、②地域就労支援事業の事例等（10件）、③就労されている人の職場の状況等（10件）

- 1 よくわかった (251件)
- 2 なんとなくわかった (106件)
- 3 あまりわからなかった (7件)
- 4 わからなかった (0件)
- 5 その他 (2件)

- 1 就職につながった事例等 (35件)
- 2 地域就労支援事業の事例等 (10件)
- 3 就労されている人の職場の状況等 (10件)

2年目の地域就労支援事業 大阪市地域就労支援センター

2002年4月より、働く意欲がありながら、さまざまな就労阻害要因をかかえる就職困難者等に対して、人権文化センターやアピオ大阪、クレオ大阪西・東で相談事業を実施し、地域就労支援コーディネーターが一人ひとりに応じたサポートプランを作成して、その実施を促し、就労阻害要因を克服し、雇用・就労に結びつけることを目的に地域就労支援事業を実施してきました。

2002年度は、地域就労支援事業を周知・啓発するためのビデオ作成や電話相談事業、ハローワーク・大阪府と連携し、求人票の展示や雇用・就労支援相談、職業適性検査、面接・履歴書講座を行うハローステップ求職者応援ひろば、雇用・就労に結びつくよう資格取得にむけたワード・エクセルなどのパソコン講座を実施してきました。

また、就労支援事業としては、雇用・就労に結びつきやすい職業能力開発のための講座の開催や、昨年と同様にハローステップ求職者応援ひろばの開催など雇用・就労を創出するための事業を実施します。さらに、相談の進捗状況や相談内容を集約・分析し、本部におけるサポートプラン調整連絡会議を定例化するなど機能の強化を図り、一人でも多くの相談者が雇用・就労に結びつくよう努めてまいります。

2002年11月中旬から開始しましたCSTEP会員企業訪問は、2003年3月末日までの約4ヶ月間で、332社の訪問を実施しました。

CSTEP事務局と会員企業の窓口担当者との情報交換として、特に求人情報・仕事情報に関する事柄について面会しました。

また、CSTEPの事業説明を行うなかで、2002年4月から立ち上がり、地域就労支援事業とCSTEPとの関係等の説明もさせて頂き、今後の会員企業のご協力を呼びかけました。

訪問を実施した企業の現状は、景気後退で収益が減少し合理化・雇用抑制に取り組んでいる一方、社会貢献として環境問題には力を入れている企業が多いという状況でした。しかし、人権問題に関わる取組みについてはまだまだ弱く、企業が社会貢献として人権問題に目がいくような仕組み作りが重要であり、引き続き2003年度も訪問を実施していく方針です。

今回の訪問でご協力いただきました会員企業担当者様には大変お世話になりました。

332社の企業訪問を実施

吹田市「ひとつながり」2000年実態調査にみる就労に関する課題としてまとめられた「就労」展示パネルの利用状況は、2002年度は、富田人権協「求人求職フェア」、和泉市「求職情報フェア」、豊中市「人権まちづくりセンター」常設コーナー、

吹田市「ひとつながり」2000年実態調査にみる就労に関する課題としてまとめられた「就労」展示パネルの利用状況は、2002年度は、富田人権協「求人求職フェア」、和泉市「求職情報フェア」、豊中市「人権まちづくりセンター」常設コーナー、

「就労展示パネル」の 更なる活用を

吹田市「ひとつながり」2000年実態調査にみる就労に関する課題としてまとめられた「就労」展示パネルの利用状況は、2002年度は、富田人権協「求人求職フェア」、和泉市「求職情報フェア」、豊中市「人権まちづくりセンター」常設コーナー、

吹田市「ひとつながり」2000年実態調査にみる就労に関する課題としてまとめられた「就労」展示パネルの利用状況は、2002年度は、富田人権協「求人求職フェア」、和泉市「求職情報フェア」、豊中市「人権まちづくりセンター」常設コーナー、

C-STEP 新事務局長に 満園賢司氏就任

大阪府の定例異動（4月1日付け）で、CSTEPの事務局長（大阪府の派遣職員）の西脇事務局長の西脇事務局長が異動され、新たに



C-STEP新事務局長
満園 賢司 氏

【お知らせ】

C-STEP 2003年度通常総会
日時:5月19日(月)午後2時00分~
場所:大阪市立浪速人権文化センター

第21回「熱と光の会」総会
日時:4月29日(火)午前10時30分
場所:ライオンズホテル大阪